

認知症

認知症関連事業のご案内をご覧ください



その人らしさをみんなでサポート

鎌ケ谷市では認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けていけるよう取り組んでいます。

相談対応

早期発見・早期対応

介護

医療



地域の介護事業所等



認知症初期集中支援チーム



専門医
認知症疾患医療センター
認知症サポート医



地域包括支援センター



認知症(疑い)の人・家族



かかりつけ医・歯科医

見守り・役割支援

オレンジカフェ



かかりつけ薬局
かかりつけ薬剤師



認知症サポーター
オレンジサポート員

地域の家族支援

※1 認知症地域支援推進員
市町村における認知症に関する医療・介護等の連携の推進を担う者。
※2 認知症初期集中支援チーム
認知症サポート医、医療・福祉・介護の専門職で構成された、認知症の人やその家族を支えるチームです。

※3 認知症サポート医
養成研修を修了し、かかりつけ医への助言等の支援を行う医師です。専門医療機関や市町村との連携の推進役となる医師です。

認知症相談窓口

お住まいの地域により、担当の地域包括支援センターが決まっています。
開所日：月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 時間：9時～17時

初富地域包括支援センター (初富保健病院内) 鎌ケ谷市初富 114 ☎047-446-7873	中央東地区 東鎌ケ谷、東初富、南初富1～3丁目、初富(700～927番地)	北部地区 栗野(1～425番地・539番地～)、軽井沢、佐津間(2番地～1299番地)、中佐津間、西佐津間、南佐津間
西部地域包括支援センター (シルバーケア鎌ケ谷内) 鎌ケ谷市初富 125-1 ☎047-441-2007	中央地区 道野辺中央、道野辺本町、右京塚、南初富4～6丁目、中央、富岡、初富本町、初富(928～931番地)、新鎌ケ谷	西部地区 くぬぎ山、栗野(426～538番地)、佐津間(1300～1400番地)、串崎新田、北初富、初富(1～399番地・1300番地～)
南部地域包括支援センター (グリーンハイツ内) 鎌ケ谷市西道野辺 10-28-101 ☎047-441-7370	東部地区 丸山、鎌ケ谷、南鎌ケ谷、東道野辺2～7丁目	南部地区 道野辺、東道野辺1丁目、西道野辺、馬込沢、中沢、東中沢、北中沢、中沢新町
基幹型地域包括支援センター (高齢者支援課内) 鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1 ☎047-445-1384(直通)	市内全域	

オレンジカフェ

オレンジカフェとは認知症の人やその家族、地域住民の皆さん、専門職などの誰もが気軽に集えるカフェです。だんらんや情報交換、レクリエーションなどをしながら一緒に過ごしましょう。開催時間内の出入りは自由です。

認知症についての個別相談を受け付けています

①オレンジカフェ はつとみ	認知症相談有：要予約
☎047-401-7922 鎌ケ谷市初富114(初富保健病院内)	
②オレンジカフェ リーベン鎌ケ谷	認知症相談有：要予約
☎047-443-8212 鎌ケ谷市丸山3-17-18(地域密着型サービス事業所リーベン鎌ケ谷内)	
③オレンジカフェ さつまの里	認知症相談有：要予約
☎047-401-1500 鎌ケ谷市佐津間989-1(特別養護老人ホームさつまの里内)	
④オレンジカフェ @コノハベース(はまれびクリニック併設 地域交流スペース)	
☎047-401-1500 鎌ケ谷市初富本町1-3-8エクセルハイツKEYAKI1F	
⑤オレンジサークルカフェ	
☎080-9396-0518 鎌ケ谷市鎌ケ谷7-12-40(コミュニティハウスここからいっぽ内)	
⑥オレンジカフェ スマイル	認知症相談有：要予約
☎047-446-8390 鎌ケ谷市道野辺1031(あおば自治会館)	

鎌ケ谷市 認知症ケアパス



認知症で困ったら…
どんなサービスがあるのかな？

認知症ケアパスは、認知症の症状に応じた対応・支援体制などの目安を示したものです。認知症を引き起こす疾患や身体状況などにより、必ずしもこの通りになるわけではありませんが、ご本人の様子により大まかな状況を把握していただき、今後の参考にしてください。
本誌は認知症の状態にあわせて利用できるサービス(認知症関連事業)を掲載しています。



認知症関連事業のご案内をご覧ください

認知症と老化によるもの忘れとの違い

認知症

- ◎もの忘れの自覚がない
- ◎ご飯を食べたことなど、体験したこと自体を忘れる
- ◎判断力が低下する
- ◎場所や時間、人との関係がわからなくなる



老化によるもの忘れ

- ◎もの忘れの自覚はある
- ◎食事のメニューなど、体験の一部を忘れる
- ◎判断力の低下は見られない
- ◎場所や時間、人との関係などはわかる



鎌ケ谷市高齢者支援課

令和8年3月改訂

認知症に早く気づくことが大切です

- 1 進行を遅らせることが可能な場合があります
- 2 今後の生活を準備することができます
- 3 一時的な症状や別の病気の場合があります



認知症の始まりによく見られる症状

もの忘れがひどい

- 同じことを何度も言う、問う、する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探している
- 財布・通販・衣類などが盗まれたと人を疑う

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 「頭が変になった」と本人が訴える

判断力・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周囲への気遣いがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする

意欲がなくなる

- 身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

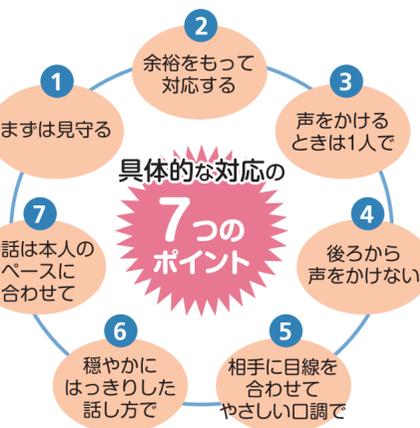
認知症かもしれない人と接する時に大切なこと

基本的考え方

人から不意に声をかけられると、誰でもびっくりします。

背後から声をかけるなど相手を驚かせたり、急かしたりして混乱させることがないように気をつけましょう。

本人の意思や自尊心を尊重する接し方を心がけることも重要です。



※認知症サポーター養成講座標準教材 認知症を学び地域で支えよう 認知症の人への対応 ガイドラインより